

## 株式会社山田養蜂場、岡山大学薬学部との共同研究

### ローヤルゼリーのインスリン抵抗性改善効果を確認。

#### 生活習慣病の糖尿病発症予防に期待。

—2005年3月末の日本薬学会第125年会で発表予定。2月1日に発表要旨をインターネットで公開—

【 本記事の検索用キーワード 】 ローヤルゼリー、インスリン抵抗性の軽減、糖尿病予備軍。

ローヤルゼリーやプロポリス等のミツバチ産品を製造・販売する株式会社山田養蜂場(本社：岡山県苫田郡鏡野町 代表：山田英生)は、岡山大学薬学部 川崎博己(かわさきひろむ)教授との共同研究によって、ローヤルゼリーを予め継続的に投与すると“インスリン抵抗性”<sup>注1</sup>(糖尿病の一步手前の症状)を軽減する事を確認しました。この結果から、ローヤルゼリーは、生活習慣病による糖尿病予備軍の症状を軽減し、予防するのに役立つ可能性が明らかになりました。

本研究成果は、2005年3月30日に東京ビックサイトで開催される日本薬学会第125年会において、川崎教授の研究チームによって発表予定です。2月1日に、本発表の要旨(発表番号 30-0689)が日本薬学会年会のウェブサイト上で公開されました。山田養蜂場は、今後も健康の観点からローヤルゼリーの多様な薬理作用や作用メカニズムを科学的に解明して参ります。

#### 【 学会発表予定の詳細 】

発表日・学会(場所) : 2005年3月30日(ポスター掲示:9:00-18:00、質疑応答:12:00-13:00)、  
日本薬学会第125年会(東京ビックサイト)  
題名(発表番号) : インスリン抵抗性病態に及ぼすRoyal Jelly長期投与の影響 (ポスター:30-0689)  
共同研究者: ○野村正孝<sup>1)</sup>、圓尾奈緒美<sup>1)</sup>、中妻 章<sup>2)</sup>、高山房子<sup>1)</sup>、川崎博己<sup>1)</sup>  
所属: 1)岡山大学大学院・自然科学研究科・臨床薬学  
2)(株)山田養蜂場・研究開発部  
参照先: (社)日本薬学会第125年会ウェブサイト:<http://nenkai.pharm.or.jp/125/web/>  
(社)日本薬学会ウェブサイト:<http://www.pharm.or.jp/>

#### 本件に関するお問合せ

株式会社山田養蜂場 文化広報室 畑  
〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場194  
TEL : 0868-54-1906 FAX : 0868-54-3346  
受付時間 : 月~金(祝日を除く)、9:00-17:30  
(<http://www.3838.com>)